

公益社団法人日本トライアスロン連合 (JTU)
2020年度(令和2年度)第4回臨時理事会 議事録

[1] 開催：2020年8月7日(金) 18:30～21:33

- ・方式：インターネット ウェブ会議方式
- ・運営会場：Japan Sports Olympic Square (新宿区霞ヶ丘町)

[2] 出席(理事26名、監事3名)：

岩城光英、國分孝雄、仲井公哉、大塚眞一郎、中山正夫、岸田吉史、飯島健二郎、山倉紀子、鈴木貴里代、村瀬訓生、和田知子、山根英紀、関根明子、富川理充、原澤敦美、上田藍、佐藤圭一、豊岡正康、大関辰郎、園川峰紀、山倉和彦、小林洋、吉田隆雄、宮本悦子、大野徹雄、宮城直久(以上、理事26名)

荻原政吉、秋山智昭、齊藤栄太郎(以上、監事3名)

・オブザーバー(3名) 中山俊行(オリンピック対策チームリーダー)、笠次良爾(メディカル委員長)、小池賢(事業企画委員)

・事務局出席(7名) 坂田洋治、土屋佳司、児玉健太、萩原舞、長江千明、大岩葵、島村直子

[3] 議事の経過

JTU定款第6章(理事会)第34条(決議)により、ウェブ会議進行役の坂田マーケティング・事業局長が出席理事ごとに確認し、定足数を満たしていることを報告した。定款33条(議長)により、岩城会長が議長として開催宣言を行い、同第23条(理事の職務及び権限)による会長及び業務執行理事の職務執行状況を報告した。その後、議事録確認者に大塚専務理事と園川理事、議事録作成者に事務方を指名し、議案の審議に入った。

第0号議案) 前回議事録承認

2020年度第2回臨時理事会の議事録案について、メール回覧済であることを事務方が報告した後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2020年度第2回臨時理事会(2020年6月24日開催)議事録案

第1号議案) 日本選手権および他主要大会の方針

標題について事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 第26回日本トライアスロン選手権および他主要大会の開催方針
- ・説明骨子) 日本選手権については、11月8日(日)にお台場での開催を進め、引き続

き COVID-19 感染拡大状況を注視しつつ、実施判断は随時並行して行う。年代別日本選手権長良川及びエイジグループ長良川国際大会については、各日200名以下に抑えて実施の方向で継続協議。開催地の COVID-19 感染拡大の状況を注視しつつ、代替イベントへの変更も視野に入れる。大阪城大会（アジアカップ及びエイジグループ）、ワールドカップ宮崎大会・日本エイジグループ選手権については、開催地の COVID-19 感染拡大の状況から今後厳しい判断になることも推測されるため、代替イベントも含めた想定と準備を開始する。

*以上の決定内容については、事務局広報からの発信があるまで外部への情報開示は行わないことが確認された。

第2号議案) 2021年度JTU 会員登録料改定案

第3号議案) JTU細則の変更案

第2号および第3号議案については、連動する内容であることから合わせて説明を行うよう議長から提案があり、事務局から説明を行い、質疑応答の後、登録料改定（減額）については、ブロックを通じ、加盟団体に対して実施するヒアリングの結果を踏まえて議論を煮詰める必要があることから、次回理事会で継続審議とすることを議長が提案し、了承された。2021年度の登録については、2020年10月1日から開始することも了承された。

説明骨子)

- 1) 2021年度会員登録の特別案として、JTU会員登録からJTU登録料を減額し、実質の値下げとする。
- 2) 2021年度会員登録は、例年11月初旬に開始している会員登録を2020年10月1日とする。
- 3) 細則の変更案 *JTU細則第7条（登録者）第4項
「加盟団体は、所属する登録者1名につき一百円～一千円の登録会費を、登録者名簿を添えて、その年度中の12月末日までに納入しなければならない。ただしインターネットによる登録の場合については別に定める。」について、団体登録他を考慮し変更する提案説明。

第4号議案) JTU 加盟団体支援交付金申請

標題について、大塚専務理事から説明があり、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項) 千葉県トライスロン連合に対する支援交付金申請をJTU事業費扱いで支援・承認する

・説明骨子) 千葉県トライスロン連合からの申請内容は大会実施に向けた支援申請であり、申請内容と申請金額内容からJTU 事業費として資金および大会運営必要資源の支援を行っていくことが適正である。

[4] 報告事項

1) 大会関係（国内大会日程進捗報告）

実施可否の状況が刻々と変わっていくが、ぎりぎりまで開催準備をし、判断する。新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと施し、メディカル・技術審判チームとともに安全安心な大会を追求していく。

2) 強化関係（海外派遣検討状況、ナショナル活動関連報告）

派遣方針と判断項目（開催国入国 48 時間内に PCR 検査義務付け等）に基づいて海外大会へ派遣を行うことの再確認され、ハンブルグ大会については派遣可能な直前タイミングまで検討を行う。なお、2020 年の ITU 公式大会は ITU 世界ランキングおよび OQR 対象外であり、強化指定制度などの認定大会としないことが説明された。

3) 2024 パリ準備態勢

2024 年パリ大会に向けたリサーチ分析とプランニングの準備デスクを事務局に設置を行い、担当を山根理事にお願いする。

4) 通報相談窓口の担当者追加

以前から規程も設けて対応しているが、新たに女性の通報相談窓口として原澤理事にお願いすることになった。またアスリート委員会が中心となり、強化指定選手からの強化活動に関する問い合わせの窓口を設けることの検討を行うことが上田アスリート委員長からも報告された。

5) 国際関係（ITU 役員・委員の推薦状況）

ワールドトライアスロンの選挙（2020 年 11 月末）にむけて、戦略的に取り組み、各候補者のマニフェストを通して、目的である国際スポーツ界での日本のトライアスロンのプレゼンスを高めることが報告された。

6) トライアスロン義援金（現状報告）

令和元年台風 15・19 号被災地支援義援金 505,000 円（終了）、令和 2 年 7 月豪雨災害支援義援金 8 月 7 日までに 14 件、230,000 円であることが報告された。

7) 事務局体制

8 月 1 日付で坂田マーケティング・事業局長、児玉事務局次長兼強化担当、長江事務局主任兼強化担当がそれぞれ就任。

事務局は、8 月よりコロナ対策で 70% 減の勤務体制が報告された。

8) ブロック報告

- ・ 関東・東京：9月6日に合同ブロック会議開催予定、関東 B/東京 B 合同選手権大会開催に向け準備中（10月4日・東扇島大会）、オールキッズが延期。
- ・ 北信越：加盟団体交付支援金申請の可能性あり。諏訪湖大会、来年6月26日開催に向けて準備中。
- ・ 東海：長良川大会とアイアンマン同日開催のためマーシャル不足の見込み。
- ・ 近畿：大阪城大会の開催に期待。コロナ対策の中、7月25日にパラ練習会開催。西日本学生選考会8月16日開催予定。
- ・ 中国：クラウドファンディングを活用して皆生39.5回大会の実施計画。キッズの夏季合宿を島根・広島県協会合同で実施予定。
- ・ 沖縄：新型コロナウイルス感染拡大中で活動が何もできない状況。

9) その他

- ・ アイアンマンアジア&パシフィック（WTC）からJTUに協力要請があり、アイアンマンジャパン開催に向けた協働対応を取ることを合意した。
- ・ 2024パリ対策やMOU国との連携を目的にJTUヨーロッパ地域連絡窓口に事業企画委員会で元JTU事務局職員のベリーノ里紗委員（ローザンヌ在:スイス国籍あり）を設置した。
- ・ 6月に女子選手の不幸な事件が発生した韓国トライアスロン連盟の現状が説明された。
- ・ 次回：定時理事会：2020年9月16日（水）13時から（ハイブリッド対応）

[5] 閉会宣言

國分副会長の挨拶の後、本日の臨時理事会すべてが終了したことが告げられ、21時33分に閉会した。

議事録署名人：

(岩城光英・議長・会長・代表理事)	(印)	2020年	月	日
(荻原政吉・監事)	(印)	2020年	月	日
(秋山智昭・監事)	(印)	2020年	月	日
(齊藤栄太郎・監事)	(印)	2020年	月	日
(大塚眞一郎・専務理事)	(印)	2020年	月	日
(園川峰紀・理事)	(印)	2020年	月	日